



人類はひとつ 世界中に友情の
橋をかけよう

MANKIND IS ONE- Build Bridges of Friendship
Throughout the World

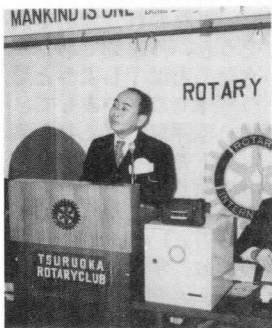


会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員69名 出席53名 出席率76.81% 前回出席率78.57% 修正出席64名 確定出席率91.43%

ゲストスピーチ

佐藤 信君



私の所属する郡山クラブは東北では最高のクラブで、現在会員は102名です。一部では老いたりクラブなどといわれています。80才以上が4名もいる。ただ最近では新旧交代の様相が甚だしくなって、半分以上が昭和生まれの方、2世、3世の人が入ってきているのが現状です。

私は地区ロータリーの友地区委員を仰せつかっていて、2年間やっております。ロータリーの友委員はあまり仕事がなく、ロータリーの友を紹介して普及・宣伝をする程度の仕事しかない。このロータリーの友が以外に皆さんに読まれていないと云う事を痛切に感じています。なんとか一人でも多くの人に読んで頂きたいというのが念願です。いろいろ考えましたが、分厚い本ですので全部を毎月読むのは相当時間がかかるので、この中の精髄を抜き出して簡単な紹介文を各クラブにお送りしてはどうか、それを雑誌委員長が各クラブで披露してお勧めしてもらう方法はどうかと考えて、2年前から実施しています。この地区内76クラブでご活用いただいております。お蔭様でロータリーの友の利用が飛躍的に向上していることを心からお礼申し上げます。

今年1月号に掲載されている中で、特に心ひかれる記事として城山三郎氏の「人間たちの魅力」がありますが、読んでみますと皆様方の企業で朝礼なんかの時、社員達にちょっと聞かせるには大変格好のものがあります。私は学校を4つ経営しておりますが、職員を集めてロータリーの友の中からの言葉を聞かせる大変良い訓示になります。こういう面でご活用になるのも一つの方法であります。

ロータリーの友委員会は年間予算が3億円で、この中の2億円が皆様方が毎月1人200円お支払い頂いた資財が積み積もってこういう額になるのです。それから、この雑誌の中にやたらと広告が多いという批判がありますが、色刷りの広告がたくさん出ていますが、この広告収入が年間6千万円。これがロータリーの友を発刊する大きな財源となっています。

ところで皆様方は外国旅行をする機会が多いと思われませんが、その際には外国のロータリーを訪問されるようお願い致します。一番障害になるのは言葉が通じないという事だと思いますが、ところが外国のロータリーに行きますと大歓迎してくれます。例えば英語が話せるかと聞いて、話せないというと、日本語をしゃべれるのがないかと探してくれて、隣の席に坐らせて全部通訳してくれる。私は今まで9カ国メークアップしていますが、ひどい所もあります。カンボジアのアノンペンへ行ったら、ロータリーの看板は下がっているが誰もいなくて、聞いてみると3年間休会になっているという。又、なかでもおもしろいのはビルマは社会主義の国ですが、ロータリークラブは一つ、ラングーンというところにありますが、行って見て驚いたのはビルマ人は3人しかいなくて、他は全部外国人で、各国の大使、公使、領事、商社の支店長などがメンバーで、通訳が金さんという韓国の総領事で、明治大学出で日本語ペラペラで、ゲストスピーチが誠に運が良くして英国大使館の駐在武官で、「戦場の我が青春」という題で第2次大戦にインド洋で日本の零戦と1騎打ちしたという話で、機会があれば日本を訪れて、かつて戦った若き日の好敵手と会いたいという話を、金さんの正確な通訳で全部わかって非常に感激しました。こういう機会に恵まれるのもロータリアンだからだなあと感じました。是非外国のロータリーをお訪ね頂くことをお願い致します。言葉が通じないなどということは全然心配ありません。どこでも実に親切に迎えてくれます。それが世界のロータリアンであるという事です。

このロータリーの友にもトロントの世界大会の事が載っておりますが、日本のR.I.会長が出ているこの時に会長を盛り立てる意味においても、1人でも多くの方が参加するように向笠会長のためにもお願いします。

私は学校経営のかたわら、総理府の青少年問題審議会委員の仕事もやっておりますが、東北・北海道は私1人ですが、20人の総理大臣によって任命された学識経験者で構成されております。今審議しているのは、激動して止まん青少年非行に対してどういう対策を講ずるかという非常に大きな問題に取り組んでおります。昭和56年に発生した青少年犯罪は18万5千人、日本の全犯罪者数の44.2%に当たっている。もっと多い国があります。それはアメリカで、52%で、将来亡ぶ可能性があるかと唱えている学者もいます。その1つの理由として青少年犯罪である。もう1つは黒人と白人の問題で、比率がまもなく逆転する。黒人の方が多くなる。その時に大きな危機に立つであろうといっている学者がいます。それ程深刻な社会問題をアメリカはかかえています。日本も44.2%ですので、まもなくひょっとすると50%になる可能性もある。その中で1番多いのは万引で、青少年犯罪の18万5千人の内、11万3千人で大変な数で、これは氷山の一角で、警察で調書を取られたり補導を受けたりした数で、実際は約90万人います。万引の原因はどこにあるかという家庭における基本的なしつけ

庄内空港の建設を推進しましょう

が全然出来ていないと云う事です。親が子供に教えることはたくさんはないと思う。教えることは3才から5才位までは3つしかない。人のものは盗んではいけない。形あるものをこわしてはいけない。約束したことを破ってはいけない。この3つをキチンと教えておけば、子供は成長に従って3つの基本に応用をつけ加えることができる訳です。青少年犯罪の蔭には家庭の空白、家庭の秩序がなっていない、子供が脇道にそれるものである。

会長報告

中江 亮君

1月18日石黒ガバナー公式訪問の後、続いて行なわれた第4回クラブ協議会は石黒ガバナーご指導の下、延々3時間にわたって協議が行なわれましたがガバナーはご自分のホームクラブでありますので、特に微に入り細に亘って普通クラブの中には、得たい情報を与えて下さいました。本当に近來にない稔りの多い協議会であったと思います。改めて石黒ガバナーに心から敬意を表したいと思います。

1月19日第1インに於いて第2回庄内分区分会幹事会が開催されました。協議された事項の中で特にご報告申し上げたい事は、石黒ガバナーが強調されておられる外部拡大についてその可能性のある地域について各クラブの意見交換がかなり活発に行なわれたのでありますが、我が鶴岡クラブに関係ある地域は藤島・羽黒であります。隣接クラブ間でテリトリーの問題もあり、近々関係クラブが集って線引きを相談したいと思っています。当クラブの方針については、後日理事会にお諮りしたいと考えていますが、さし当り藤島方面から会員としてお迎えしてから、次年度以降の検討課題にしたいと考えています。本日午前中に開かれた臨時理事会の決定事項についてご報告申し上げます。

- (1) 新穂光一郎会員のお嬢さんの恵さん（鶴岡南高校2年在学中）から出されておりましたアメリカへの交換学生派遣申請について審議をした結果、派遣を承認しました。
- (2) 1983年規定審議会の審議に付される制度案及び決議案に対する当クラブの賛否を検討する件について、理事会は現クラブ情報委員会に付託することを決めました。これには佐藤元伸幹事を加えることにしました。

幹事報告

佐藤元伸君

1. 会報到着 山形南R.C. 山形北R.C. 山形R.C. 山形西R.C. 遊佐R.C. 藤沢R.C.
2. 例会変更のお知らせ
 - (1) 鶴岡西R.C. 2月4日の例会を
日時 2月4日(金) P.M.6:00
場所 かに船
登録料 4,000円 たら汁会の為
 - (2) 酒田R.C. 酒田東R.C.
酒田R.C.1月26日・酒田東R.C.1月27日を
日時 1月29日 A.M.11:00より
場所 酒田天真学園高等学校講堂
インターアクトクラブ3年生卒業の労をねぎらう合同例会のため
 - (3) 鶴岡ローターアクトクラブ
日時 4月23日(土) 24日(日)
場所 出羽ホテル
登録料 5,000円 2月7日まで返事する事
 - (4) 日本電信電話公社よりオレンジレポート到着
 - (5) 次回例会はたら汁会のため午後5時30分より

当会場で行ないます。

「小さな親切」運動

玉城 俊一君

「小さな親切」運動は、元東大総長茅誠司氏が提唱して始めたもので、昭和38年にスタートしてから今年の6月でちょうど満20周年を迎えます。

この運動は「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣になるように」を合言葉に致しまして「小さな親切」の実践を通じ、失なわれつつある人間の信頼と連帯をとりもどそうという運動であります。「小さな親切」の「小さな」とは「しようと思えば誰にでもできる」という意味でございます。要は勇気をもって親切が行える雰囲気、又これを素直に受け入れるさわやかなムードを盛り上げていくことがこの運動の精神となっております。

高度成長時代の“物”を主体に考える傾向が強くなかにありまして“心”の持ち方という人間内部をとりあげたこの運動は全国の地域、学校、企業に理解され心豊かな人間性を回復し、人間相互の連帯感を強める上で大きな成果をあげております。

昭和58年1月時点での会員数は160万人を越えてまた、地方組織として29の県本部と100以上の支部が結成されております。

「小さな親切」運動の具体的な活動といたしましては、誰にでもすぐに実行出来る「小さな親切」を実践するとともに、地域における「小さな親切」実行者を多く発掘し、実行章を贈ることにによりまして明るい豊かな地域社会を創ることとあります。これまで実行章を受けた人は120万名の多きに達しております。このように全国に運動の輪が広がっている中で、鶴岡市にもこの運動を推進してゆこうとの気運が高まり、当行が中心となって昨年10月に県内4番目の地方組織として「鶴岡小さな親切の会」を結成しました。現在会員数は30名程度でございますが、更に会員を増やして組織を強化してまいりたいと考えておるところでございます。つきましては「人を信じ、人を愛し、人につくす」というスローガンはロータリーの精神と相通するものがございまして何卒皆様からも「鶴岡小さな親切の会」の会員になって頂くようお願いするものであります。

スマイル

佐藤 信君 郡山R.C.

石黒ガバナーのホームクラブを訪問する機会に恵まれ喜びに堪えないので

石塚敏彦君 職場紹介に掲載されたので
風間真一君 職場紹介に掲載されたので

ビジター

鶴岡西R.C. 野口 弥君・長南朋泰君
菅原年雄君・三浦正志君
長野正彦君

温海R.C. 佐藤五右衛門君・阿部一太君
(今週の担当者 斎藤 隆)